昭和25年3月2日第三種郵便物認可　日刊（日曜除く）
©苫小牧民報社2017

その問題、当社の
データセンター
サービス
が解決します。
コンピュータ管理の専任者を維持できない。
サーバ更新の手間と費用を省きたい。
大切なデータの情報漏えい・障害・災害から守りたい。
株式会社 I-TEC ソリューションズ
〒053-0022 苫小牧市表町1丁目1-11　TEL 0144-38-2611

あすの苫小牧

きょうのニュース

厚真「美苫」原料米の田植え　2
道内 今春大卒就職率94.1%　4
「共謀罪」参院審議入り　5
苫小牧市 今年度も女性復職支援事業　19

ミャンマーに合弁会社

会沢高圧コンクリート　ODA事業に参画

現地に工場建設　インフラ整備の製品など供給へ

ヤンゴンで建設中のコンクリート工場
（会沢高圧コンクリート提供）

会沢高圧コンクリート（本社苫小牧市、会沢祥弘社長）はミャンマーに合弁会社を設立し、日本の政府開発援助（ODA）による幹線鉄道の路盤改修や、同国最大都市ヤンゴン南部の工業団地での港湾工事の事業に参画する。現地に工場を建設中で、6月中旬からコンクリート生産を開始する計画。同社が培ったコンクリート製造技術を生かし、同国の発展に寄与する。

合弁会社は、「アイザワミャンマー」。同社の海外グループ会社アイザワコンクリートインターナショナル（シンガポール）、建材商社タイガーサプライ（ヤンゴン）、総合建設コンサルタントの復建調査設計（広島）の3社が計1億1000万円（日本円換算）を出資し、9日にヤンゴンで合弁会社設立の調印式を行った。国際協力機構（JICA）によると、ODA事業への道内企業の参画は珍しいという。

ミャンマーは近年急速な経済成長を遂げている一方、港湾や電力など基礎的インフラの拡張や整備が喫緊の課題になっている。鉄道設備も老朽化し、旅客・貨物需要の高まりに対応した施設の近代化に迫られているという。

合弁会社は、ヤンゴン南部で日本企業が多く進出するティラワ工業団地の港湾整備で、コンクリート製の大型側溝を納入する計画。その後、ヤンゴンと首都ネピドー、商業都市マンダレーを結ぶ幹線鉄道（620キロ）の改修工事で、コンクリート製枕木や大型ボックスカルバート（箱形構造物）などを供給する予定だ。

ヤンゴン・マンダレー鉄道整備事業の総事業費は現在1127億円で、今後も増加する見通し。工期は14年から25年までの11年間。

合弁会社がヤンゴンで建設中のコンクリート工場では、インフラ整備で使用される製品の設計と製造を行う。今年度は約1万トンを生産する計画で、工場の従業員100人程度を雇用する考え。今後、日本のODA以外にミャンマー政府発注事業の受注などを目指していく。

会沢高圧コンクリートは、4年ほど前から合弁会社の設立に向けて準備を進めていた。会沢社長は「政治情勢の変化などがあり、ミャンマーの状況をリサーチしていた。パートナーに恵まれて3社が合意に至った」とし、「港湾や鉄道の整備はミャンマーにとって重要。日本のODA以外の事業も拡大させていきたい」と話している。

コンクリート製品製造道内大手の同社は、07年にベトナム・ホーチミンで、ODAによるサイゴン東西ハイウエー建設事業に携わった実績を持ち、海外の拠点は国など5カ所に

会員拡大計　常務に森本

苫商議所

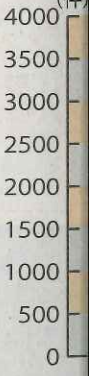
苫小牧商工会議

ごみゼロの日　食品ロス　エコドライブなど発信

体験や寸劇通しルール

全国一斉に環境美化活動を行う「530（ごみゼロ）の日」に合わせ、苫小牧市は30日、イオンモール苫小牧で啓発イベントを開いた。親子連れなど約300人が来場。環境への負荷が少進に向けて、家庭り組みを楽しく学

会場では「ごと題し、まだ食べを廃棄する食品

市担当課も危機感　学校での出前講座にも

ウイ